

競技日程

9月9日(金) 第1日目

トラック	時刻		種目	人数	組
1	10:00	男女	ハンマー投決勝 (11/4)		1
2	13:00	男女	円盤投決勝 (13/3)		1

9月10日(土) 第2日目

トラック	時刻		種目	人数	組
1	9:00	女	7種100mH (3)		1
2	9:10	男	8種100m (7)		1
3	9:20	女	100m予選 (36)		5-1+19
4	9:40	男	100m予選 (65)		9-1+15
5	10:20	女	1500m決勝 (23)		1-タイム
6	10:30	男	1500m決勝 (48)		2-タイム
7	10:50	女	400m決勝 (25)		4-タイム
8	11:05	男	400m決勝 (36)		5-タイム
9	11:30	女	100mH決勝 (16)		2-タイム
10	11:45	男	110mH決勝 (7)		1-タイム
11	12:00	男女	5000mW決勝 (2/2)		1-タイム
12	13:15	女	100m決勝 (24)		3-3+3
13	13:25	男	100m決勝 (24)		3-3+3
14	14:30	女	7種200m (3)		1
15	14:40	男	8種400m (7)		1
16	14:50	女	4×100mR決勝 (16)		2-タイム
17	15:05	男	4×100mR決勝 (15)		2-タイム

フィールド	時刻		種目	人数	組
1	9:30	女	走幅跳決勝 (21)		2
2	10:30	女	7種走高跳 (3)		1
3	10:40	男	8種走幅跳 (7)		1
4	12:00	男	走幅跳決勝 (26)		2
5	12:30	男	8種砲丸投 (7)		1
6	12:30	女	7種砲丸投 (3)		1
7	13:00	男	走高跳決勝 (9)		1

9月11日(日) 第3日目

トラック	時刻		種目	人数	組
1	9:00	男	8種110mH (7)	1
2	9:10	男	5000m決勝 (22)	1-タイム
3	9:40	女	3000m決勝 (14)	1-タイム
4	9:40	女	OP3000m決勝 (4)	1
5	10:00	男	OP3000m決勝 (2)	1
6	10:15	女	200m予選 (34)	5-1+19
7	10:30	男	200m予選 (48)	6-1+18
8	10:50	女	800m決勝 (28)	4-タイム
9	11:20	男	800m決勝 (38)	5-タイム
10	11:50	女	400mH決勝 (13)	2-タイム
11	12:00	男	400mH決勝 (8)	1-タイム
12	12:20	男	3000mSC決勝 (11)	1-タイム
13	12:30	女	200m決勝 (24)	3-3+3
14	12:45	男	200m決勝 (24)	3-3+3
15	13:00	女	7種800m (3)	1
16	13:10	男女	OP1500m (10/1)	1
17	14:30	女	4×400mR決勝 (15)	2-タイム
18	14:45	男	4×400mR決勝 (13)	2-タイム
19	15:00	男	8種1500m (7)	1
20	15:05	女	OP100m (24)	4
21	15:20	男	OP100m (82)	10

フィールド	時刻		種目	人数	組
1	9:20	女	7種走幅跳 (3)	1
2	9:30	男女	棒高跳決勝 (6/5)	1
3	10:00	女	走高跳決勝 (8)	1
4	10:00	男女	砲丸投決勝 (12/7)	1
5	10:40	男	三段跳決勝 (8)	1
6	11:00	男	8種やり投 (7)	1
7	11:00	女	7種やり投 (3)	1
8	12:30	女	三段跳決勝 (12)	1
9	13:00	男	8種走高跳 (7)	1
10	13:00	男女	やり投決勝 (15/8)	1

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟規則第162条の5.の（C）により、音声や動作その他の方法（ピク付き動作を含む）で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、800m未満の種目とフィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、800m以上の種目および三段跳は25mm以内とする。また、競歩競技は40mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。

2. 来場について

- ①来場者は、その日ごとに健康チェックシート（高体連用・保護者用）を必ず提出すること。提出されない場合には参加（来場）を認めない。
- ②会場での行動は運営方針又は会場係の指示に従うこと。

3. 練習について

- ①本競技場での練習は、開門（8時）から第1競技開始10分前までとする。
- ②競技進行中の競技場内でのウォーミングアップは競技運営に支障のない限り、バックストレート等、認める。
- ③練習は次の通りに行う。
ジョギングは第1コーナーから第4コーナーまでの往復とし、7～8レーンは400mH専用レーンとする。直走路はスピード練習及び技術練習のみとする。状況に応じて変更することもある。その際は練習会場係の指示に従うこと。
- ④棒高跳及び投擲種目の練習は本競技役員の指示に従って実施すること。
- ⑤競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習は原則禁止とする。特にチューブやメディシンボールなど。
- ⑥室内練習場での練習は、感染症対策を行うことを条件に許可をする。
- ⑦芝生内でのスパイクシューズの使用を禁止する。

4. 競技場について

競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。（競技規則143条）

5. 招集について

- ①招集所は100mスタート付近ゲートに設ける。
- ②招集開始及び完了時刻、現地招集時間は下記の通りとする。

種目	招集開始	招集完了	現地招集
トラック競技	40分前	20分前	10分前
走高跳・走幅跳・三段跳	60分前	40分前	30分前
砲丸投・円盤投・やり投	60分前	40分前	30分前
ハンマー投	×	×	30分前
棒高跳	×	×	50分前

◎混成競技は両日ともに第1種目の招集開始及び完了時間は下記の通りである。但し、2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技・フィールド競技ともに10分前に現地で行う。

種目	招集開始	招集完了	現地招集
混成第1種目（トラック）	40分前	20分前	10分前
混成第1種目（フィールド）	40分前	30分前	10分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は招集開始時刻から完了時刻までに招集所に準備されたスタートリストに○をつける。
- ⑤招集完了後、100mスタート付近ゲートから競技場に入場し、現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出ること。

6. 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに招集所競技者係に申し出ること。

7. 入退場について

①競技場（トラックレベル）への入場は選手および競技役員以外認めない。

（保護者の観戦はメインスタンドのみとする。）

②選手の競技場への入退場は100mスタート付近ゲートのみとする。保護者の入場は正面玄関1F外（100mゴール側）

8. アスリートビブス（ナンバーカード）について

①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。

②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。

9. トラック競技の抽選・番組編成について（レーン順・試技順）

①トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

②トラック競技の決勝の組、走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。

10. リレー種目について

①リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。

②リレー種目に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。

③リレー種目に出場するチームは、原則同一ユニフォームで参加しなければならない。

11. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定（1/100秒）で行う。

12. トラック競技の決勝進出について

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者、チームまたは代理人によって抽選する。

13. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りである。（天候、その他の条件で変更する場合もある）

種目	練習					
男子 走高跳	1 m 4 0	1 m 4 5	~ 5 c m	1 m 8 5	1 m 8 8	~ 3 c m
女子 走高跳	1 m 1 5	1 m 2 0	~ 5 c m	1 m 5 0	1 m 5 3	~ 3 c m
男子 棒高跳	3 m 2 0	3 m 3 0	~ 2 0 c m	3 m 9 0	4 m 0 0	~ 1 0 c m
女子 棒高跳	2 m 2 0	2 m 3 0	~ 2 0 c m	2 m 7 0	2 m 8 0	~ 1 0 c m
男子 混成走高跳	1 m 2 0	1 m 2 5	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	~ 5 c m
女子 混成走高跳	1 m 0 5	1 m 1 0	1 m 1 5	1 m 2 0	1 m 2 5	~ 5 c m

◎県大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

14. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したもの限り使用できる。（検査は現地で行う）

15. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

①上半身の衣類 製造会社名/ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。

②下半身の衣類 製造会社名/ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。

③バック・タオル（ブランケット含む）

製造会社名/ロゴ：1個・最大40cm²まで文字高さは5cm以内

- ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）
製造会社名／ロゴ：1個・最大6cm²まで文字高さはcm以内

16. 抗議について

競技規則第146条による。

17. 県大会出場について

トラック競技順位12位〔リレー競技は上位14位〕、フィールド競技上位9位（走高跳・棒高跳は9名）、混成競技2位及び全支部の予選会が終了した時点で落選した選手の中から上位8名、競歩競技無制限までの者が、第61回千葉県高等学校新人体育大会陸上競技大会の出場権を得る。ただし、トラック競技は1000分の1秒以上の差でも優劣がつかない場合は、同順位として県大会出場とする。また、陸連・陸協等の代表者として選手が推薦された場合は支部枠外として本大会に出場できる（常任委員会の承諾を得る）。

18. 清掃について

自分で出したゴミは持ち帰りとする。また、競技場内の清掃においては全生徒・全役員で協力して美化に努める。においては全生徒・全役員で協力して美化に努める（競技場内の備え付けのごみ箱は使用しない）

19. 開門・場所取りについて

①開門は8:00とする。但し、テントを設営する学校は7:00、その他の場所取りをする学校は7:40に事前に割り当てられた場所に入場することができる。7:40の入場は各校代表者2名以内とする。

②諸注意

- ・各校のテント・シート等の控え場所は1か所とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。

20. その他

①競技会で発生した傷病については主催者側で応急処置をする。医務室はメインスタンド下に置く。

②更衣室の使用は女子のみとする。

③1日目の各学校のテント等の道具は、室内練習場に整頓して置いていても良いが、紛失等責任は負えない。テントの骨組みだけは、その場に置いて帰ることができる。

④貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。

⑤トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラ・音楽再生機器等競技場内に持ち込むことはできない。

⑦3000mSCおよびやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。

⑧三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。

⑨競技場での日傘の使用は禁止とする。但し、フィールド競技のみ天候に応じて認める。

⑩投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。

⑪集団応援は禁止とする。また、個別の応援や指示は節度をもって行うこと。（大声を出さない）

⑫長距離・競歩競技においてはバックストレートにて各校での給水を認める。但し、蓋つきのペットボトルで、中身は水のみとする。また、選手同士の共有や回し飲みは禁止とする。

⑬各種目スタート地点及びゴール地点への付き添い選手の立ち入りを禁止とする。但し、緊急事態時はその限りではない。

21. 県新人体育大会の申し込みについて

リレーメンバーの変更がある場合は9月12日（月）までに大多喜高校 森田先生まで連絡をすること。